

コ 5 ク 9 ロー 6 サン 3 ハート通信

VOL. 93

竹原運輸株式会社

発行日 令和2年1月15日

★事務所スタッフからの一言



皆様、いつもお世話になりありがとうございます。日頃は格別なるご厚意を賜り、心より御礼を申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりありがとうございました。今年も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

「幸福になるために仕事をしている」

このことは、おそらくすべての人に共通していることだと思います。これを共通関心と言います。そして、仕事の場である会社についてピータードラッカーはこう言っています。

「組織は道具である」

つまり、会社は幸福になるための道具であり、それをうまく使っていきましょう、ということです。ところがこの手段と目的が、入れ替わってしまうことがよくあります。

会社に振り回され、使われてしまう。そんなことにならないように、経営幹部は常に仕事の目的は何か？みんなの関心は何か？を意識して経営をしていきたいと思ひます。

あと、もう一つ意識していることがあります。

「自分が幸福になることで、周りの人が幸福になっているか？」

自分たちだけでなく、周囲の人も幸福にならないと、結果自分たちも幸福にはなれない、ということです。自分の幸福は他人にかなり依存しています。

今年も皆様と共に幸福になって、いい人生を送れたと思えるようにしたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。

竹原 和行

年頭所感

弊社のハート通信をお読みの皆様方、新年明けましてお目出とうございます。

昨年中、皆様におかれましては、大変なご愛顧を頂きまして誠に有難うございました。

今年も皆様から絶大な信頼を頂けるよう、誠心誠意、全力で皆様のお役に立つ覚悟でございます。どうかよろしく願い申し上げます。

今年の干支は子です。

私の干支であり、還暦を迎えました。

今年は「はじまりの年」と位置づけまして、新しい取り組みをバンバンやって行こうと思っています。

唯一、生き残るのは環境に対応できた生き物です。企業も又、この複雑系と言われる世の中であって、企業は生き物であり、有機体と私は捉えています。

よりよく変化し続け、心を大事にし、心を尽くして企業経営に邁進する覚悟です。

年初にあたりまして、皆様の更なるご多幸をご祈念申し上げます。



社長 竹原正和

旧年中は竹原運輸（株）をご愛顧いただきありがとうございました。心よりお礼申し上げます。2020年を迎え、皆様にとって良いお年をお迎えいただいた事と思います。当社も2020年度の年賀式が、1月6日に行われ、社長より冒頭に新年度の抱負と、今年度の当社が歩むべき姿、当社が来年度は創業50周年を迎えるについての訓辞がありました。新しい事に取り組んで挑戦していこう。「竹原運輸で働けて本当に良かった」と思える会社にしよう。それにはまず、交通事故ゼロに挑戦し取り組んで行こうとの訓辞があり、新年度がスタートいたしました。当方は今年度初の「ハート通信」は事故防止の一環として「だろろう運転」について寄稿させていただきました。

『だろろう運転』が事故のもと

最近ドライバーの装着や動画の普及から生々しい事故の映像がテレビ等で多く見せつけられてしまうと、自分ではさほど驚かないケースも増えてきているように思えてなりません。その中で実際には、事故につながっていないヒヤリハットを経験している人は数多いと思います。実際には事故の映像を見せてもらうと画面上の出来事で見えなくなってしまうのが現状ではないかと思います。私たちプロドライバーのように安全運転を厳しく教育されている者にとってもヒヤリとした経験も日常茶飯事にあり、会社で点呼時に日々報告されてきます。事故につながる「だろろう運転」の定義とは、どのように表現すればよいのだらうかと安全委員会の小集団活動グループで話し合いをしてみても、はっきりとした決定的な結論は出ず、結局は自分で大丈夫であろうと思いつつながら運転をしていた時に起きた事故を「だろろう運転事故」と言うのだらうとの意見が多数であった。さらに映像を見てみると「飛び出して来ないだらう」「割り込んで来ないだらう」との思いからヒヤリハットにつながって来るケースも多く見受けられました。当社での運行体制はトラック専門での輸送が主流であり車両重量が重い、重量物であることから、乗用車のように簡単に停止は出来ない車両でもあるのにもかかわらず、大丈夫だらうとの思い込みで走行してしまい、ヒヤリハットにつながってしまっていることが多いとの意見も多数ありました。私たちプロドライバーは常に「人」「車」が飛び出してくるのではないかと危険予知を常にしながら運行していますが、自社のドライバーからいろいろな映像を見てみると「幅寄せ」「急停止する車」「右折左折直進して来る車」等々双方のドライバーの「だろろう運転」が事故につながって行く映像を見ていると、思わず生つばを飲み込むシーンさえあり、もう少しで接触するかと思ったり、追突するかもしれないと思ったり等々の映像が録画されており当方がヒヤリとしてしまいます。映像をもとにドライバーの意見を聞いてみると異口同音に交通ルールをもっと守って運転してほしいとの話であり、この様な運転をしていると少なくともトラック業界のイメージも向上していかない事でもあり、ヒヤリハットすることは体には全く良くないとの話も多数でした。私達はプロドライバーとして業務に就いていますが、注意していなければならないのが一般ドライバー、歩行者、子供、高齢者等々に対して充分注意して業務に就き模範となる運転をすることに心掛けていかねばならないと映像を見ながら思った次第です。最近特に、バス、トラックの事故で世間の目も以前より厳しいものとなってきており、昨今一部の同業者同士のドライバーのせいで業界全体が悪く思われてしまうのが残念で仕方なく思っています。特に福井県は右左折のウイカーを出すのが遅いのが全国ワースト2位に汚名を着せられています。それを払拭するために私達も交通ルールをしっかりと守って運転をしなければならないと思っています。交通ルールを1人1人が守っていけば事故は少なくなって行くのではないかと思います。

斉藤 洋一

新年明けましておめでとうございます。令和2年も竹原運輸とハート通信をよろしくお願いたします。

昨年の年末から年始にかけて長いお休みをいただきました。と言っても何かと予定が目白押しでゆっくり自宅で休めたのは1日だけだったでしょうか。初詣もその予定の中にあるイベントの一つで、欠かしたことはありません。幼いころからの習慣なので今では当たり前になっておりますが、年々、参拝される人出が少なくなっているように感じます。

地元の三國神社にお参りするのですが、毎年、大晦日から元日になった0:30~1:00頃に参拝します。雨の日も雪の日もです。一般的な参拝ではなく、神社の拝殿内でご祈祷を受けます。「昇殿参拝」は改まって参拝したいときや、特別な祈願がある場合に見られる光景ですが、私は毎年、社務所で申し込みをして玉串料を納めてお祓いを受けてから、神職の案内で昇殿いたします。新年を迎えられたことや、日頃の感謝を祝詞(のりと)をあげてもらい報告するのです。

七五三や厄払いなど、特別なことでもない限り、ちょっと腰が引けてしまいそうな昇殿参拝だと思われがちですが、少しの作法で大丈夫です。と私が言うのもおかしいのですが、神職が一からご教示してくれますし、背筋がピンと伸びて身が引き締まる思いはなかなかいいものです。

玉串料はお賽銭より少々高くなりますが、参拝が終わるとお守りや破魔弓などを頒布してもらえます。そしてあったかい甘酒を頂いて背筋がまあるくなったら帰ります(笑)。

と今年も例年通りの正月を迎えることができましたこと、全てに感謝です。

池上則和



朝起きるのがとても辛い季節となりましたが、皆様お元気でしょうか？

去年は、ご愛顧いただき誠にありがとうございました。

さて、昨年お客様より掛けて頂いた、お礼の言葉の中で、私にとって今後もずっと

《心に残る言葉》がありましたので、紹介させていただきます。

それは、節句人形や天神様を取り扱っている大きな店舗の移転を、約1カ月間かけて行うという中で、期間中3回にわけて、弊社よりトラックと4名の作業員にて梱包などを終えた商品の移動をさせていただきました。その3回の作業は、リーダーだけを固定し、残りの作業員はその都度、状況に合わせて作業員を代えて作業にあたりました。

無事に店舗移転が完了し、開店前日にお礼とお祝いに伺ったところ、その会社の会長(80歳)が私に言われた言葉が《心に残る言葉》となりました。

『あんたのこの社員さんと、作業には心がある。』

素晴らしかった。本当にありがとう』

聞いた瞬間、震えるほどうれしく、弊社にとって最高のお褒めの言葉だと私は思いました。なぜなら、心のある作業は上辺だけの気持ちでは出来ないからです。会社に不平や不満があれば出来ませんし、スタッフ間のコミュニケーションが無ければ出来ません。それが出来るのは、スタッフ全員が仕事を好きな事、同僚、上司が好きな事、会社が好きな事、それがあって初めて、お客様に対してお客様の立場になり考え行動することで、心ある作業が出来ると思っています。

今回は引越部門の中での話でしたが、会社全体がそのような心ある作業ができるよう心掛け、サポートしていきたいと思っております。

本年も宜しくお願い致します。



大橋 哲夫

新年、あけましておめでとうございます。
昨年は大変お世話になりありがとうございました。
本年も宜しくお願い致します。

会社の年賀式の最後に、歳男の社員が抱負を発表するのですが、私もその中の一人として発表し、声に出す事でいつもより強い決意を感じている次第です。

今年は優しい冬の訪れとなっていますが、雪がないとスキー場が営業不能になったり、スタッドレスタイヤがすり減ってしまうとか、温かさで葉物野菜が安価に等々耳にします。

気候に合わせて上手に対応し、油断せずに体調管理(と言っても風邪予防くらいですが)を十分にして丁寧な仕事を完遂したいと考えています。



辻川 伸吾

新年、明けましておめでとうございます。

2020年になりました。今年はオリンピックが日本で開催されます。

毎年、新しい年になると、今年はどんな年になるのかなと気になって、インターネットや雑誌などいろいろ調べたりしています。

インターネットだと、いろいろな情報があふれ、いろんな視点から見た情報などたくさんありますが、その中でも今年は良い年になるという情報が多かったです。

良い年になるといっても、何もしなかったら起こらないので、自分次第な所もあると思いますが、今年一年、いろいろなことに挑戦したり、新しい事をはじめたり、来年、再来年に向けて、いろんな事に対する備えをしたりと、新年から明るい気持ちになりました。毎年一年の目標を決めても、一年が終わるころには、目標を決めたことも忘れ、振り返ることもなかったなど反省もあるので、今年は、しっかり目標をたてて、充実した一年にしていきたいと思います。



谷口 学

新年あけましておめでとうございます。

我が家の娘が年末に結婚をしました。

いつもにぎやかな年末年始、家族の1人が家に居ない為何か変な感じで過ごしました。

今年の正月も積雪が無くある所に出掛けた時に、働き方改革の方針だと思いますが、年中無休だったはずの場所がお休みに変わっていてがっくり、今思えば休みだった所が知らず知らずのうちに、今の様にあちらこちらと正月も営業になり、営業している事が、当たり前になってきていたのだなと感じました。

これからは事前に調べてから、出掛けようと思います。

本年も宜しくお願い致します



越 邦治

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

私は、年末年始 8 連休の長いお休み頂きましたが、皆様どのように過ごされましたでしょうか。

長い休みと思いましたが、あっという間に終わってしまったというのが実感です。大掃除、大晦日には新築した長男宅でご馳走になり、久しぶりに紅白歌合戦をゆっくりと楽しむことが出来ました。

新年は、主人の母親を迎えに行き、我が家でのお正月を過ごしてもらいました。3日には夕方から次男も帰って来たので(彼女を連れて)、長男夫婦も呼んで我が家で食事会となり、短い時間ではありましたが、和気あいあいと充実した時間を過ごし、主人も満足そうでした。

さて、4日は、昨年健康診断で指摘され12月に再検査してもらった結果を聞きに行く日となっていました。土曜日でしたが、朝早くから病院に行くと言山の人でびっくりしました。結果、大丈夫とのことでしたので一安心致しました。昨年は、主人も健康診断で再検査、病気も発見され、健康診断は本当に大事だなと思った一年でした。

今年一年、次回11月の健康診断には良い結果になるよう運動、食事面で気を付けて頑張ります。



吉川佳代

明けましておめでとうございます！今年も宜しくお願い致します。

今年のお正月は永平寺に行って来ました。福井にいながら一度も行った事がなく、一度は行ってみたいと思っていました。

行く前に YouTube で永平寺の一日の様子を見て予習をしてから行って来ました。

動画で見た通り階段や廊下がきれいに雑巾がけしてあってピカピカでツルツルでした。階段が多くてなまった身体には少しきつかったです。

座禅をしている風景を子供に見せたかったのですが（言う事を聞かなくなってきたのでいい刺激になるかと・・・）残念なことにやってなかったです。

今年は、中3・小6になる息子たち。お姉ちゃんに頼ってばかりでなくて、しっかりとした息子になって欲しいものです。



水谷 有基
次回もお楽しみに・・・